

### 第3回 王寺町泉の広場避難訓練『クロスロードゲーム』報告書

- 1 日時：平成27年11月29日（日）10:45～12:15
- 2 場所：王寺町泉の広場 体育館
- 3 主催：王寺町『泉の広場』避難所運営委員会
- 4 出席者：84名(7×12=84)
- 5 講師：神戸クロスロード研究会 栗田聡也 柿本雅通（神戸市職員）  
 コメンテーター 片瀬範雄（神戸防災技術者の会（元神戸市職員）、  
 （NPO法人都市災害に備える技術者の会）  
 補助 曾谷はなこ（神戸防災技術者の会（神戸市職員）  
 陪席：NPO法人都市災害に備える技術者の会 伊藤東洋雄
- 6 【災害対応カードゲーム：クロスロード】  
 出席者全員を1組7名に分け、栗田氏の出題と片瀬氏・柿本氏の解説・コメント及び曾谷はなこ氏のアシストで進めていった。  
 設問は次の5題であった。
  - 設問 1 あなたは・・・主婦  
 防災のため、風呂の残り湯を浴槽に溜めておくといわれる。しかし、浴槽がかびるかもしれないし、湯垢がつくと掃除が面倒。それに滅多に災害なんて来ない。それでも残り湯を溜めておく？ Yes（溜めておく）／No（流してしまう）
  - 設問 2 あなたは・・・被災者  
 地震で自宅は半壊状態。家族揃って避難所へ。ただ日頃の備えが役立ち、非常持ち出し袋には水も食料も3日分ある。一方、避難所には水も食料も無い家族多数。その前で非常持ち出し袋を開ける？ Yes（開ける）／No（開けない）
  - 設問 3 あなたは・・・避難所の運営委員。  
 被災から数時間。避難所には300人が避難している。現時点で確保できた食糧は200食。以降の見通しは、今のところなしと町から連絡が来た。まず200食を配る？ Yes（配る）／No（配らない）
  - 設問 4 あなたは・・・被災者  
 地震から7日間。避難所（小学校体育館）に避難中。電気だけは復旧し、何とか自宅に戻れる状態になったが、祖母（75歳）の体調が悪い。避難所ならば24時間医師が詰めているが、自宅は遠く不

便。

自宅に戻る？ Y e s (自宅に戻る) / N o (避難所に留まる)

設問 5 あなたは・・・住民

大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼い犬“もも”（ゴールデンリトリバー、メス3歳）がいる。

一緒に避難所に連れていく？ Y e s (連れていく) / N o (置いていく)



会場の様子



会場の様子



自分の考えを述べている様子

## 7 感想

- ① クロスロードゲームは初めての試みの中、各テーブル毎に期待以上の意見交換がなされていた。  
もっとゲーム感覚と捉えて欲しい面はあったが、知り合いの中で遠慮がちな発言も見受けられた。
- ② かなりの年配者の方は、戸惑いもあるように見受けられた。  
年代の異なるグループづくりをお願いしたが、今後どのようにすることが、より話し合いがうまく進む方法となるかを考えたい。
- ③ 成年層がうまくリードされていた。  
各テーブルにリーダー的な人を配置することで、よりスムーズな進行がとれるように感じた。
- ④ 体育館であることから、音響面で聞き取りにくい面もあり、今後マイク設備又は会場設定を考える必要はある。
- ⑤ 今回の体験を生かし、今後はもっと身近な設問を参加者自身が出し合い、地域でクロスロードゲームが出来る体制を構築して欲しい。  
今回はコメントを付けたが、色々な意見交換の中から、地域の状況にあった減災方法を見出していくように活用して欲しい。

(文責：伊藤東洋雄)